≪平成12年(速報)≫ 生産・出荷指数 ともに上昇

1 概 要

平成12年の埼玉県鉱工業指数(X-11デフォルトによる季節調整済、平成7年平均=100)は、前年と比べ、生産・出荷が上昇し、在庫・在庫率が低下した。生産・出荷は3年ぶりの上昇、在庫・在庫率は2年連続の低下となった。

2 業種別動向

生産指数では、19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には電気機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には化学工業、プラスチック製品工業などが寄与した。

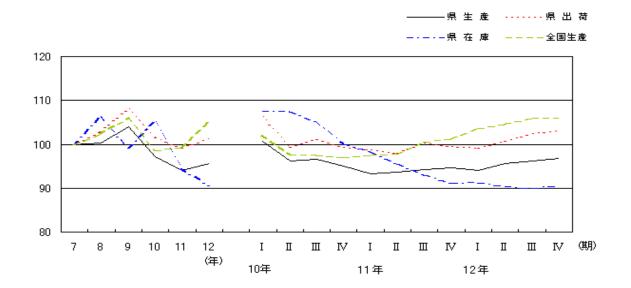
出荷指数では、19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には電気機械工業、輸送機械工業などが寄与し、低下には化学工業、プラスチック製品工業などが寄与した。

在庫指数では、19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇にはパルプ・紙・紙加工品工業、化学工業などが寄与し、低下には一般機械工業、繊維工業などが寄与した。

			11 年	12 年	12 年					
					1~3月	$4\sim6$ 月	7~9月	10~12月		
生	産	指 数	94.0	95. 7	94. 1	95.6	96. 2	96.9		
		増加率(%)	△3.3	1.8	△0.5	1.6	0.7	0.7		
出	荷	指 数	99. 2	101.3	99. 1	100.7	102.5	103.0		
		増加率(%)	$\triangle 2.4$	2. 1	△0.4	1.5	1.8	0.6		
在	庫	指 数	94. 5	90.6	91.3	90.4	90.0	90.8		
		増加率(%)	△10.1	$\triangle 4.1$	0.3	$\triangle 1.0$	$\triangle 0.4$	0.9		
在	庫 率	指 数	102.6	98. 0	98. 4	98.3	96. 9	98.5		
		増加率(%)	△4.7	$\triangle 4.5$	0.6	△0.1	$\triangle 1.4$	1.7		

-埼玉県鉱工業総合指数の推移-

(平成7年平均=100 季調済)



≪平成12年10~12月期≫ 生産・出荷・在庫・在庫率指数 すべて上昇

1 概 要

平成12年10~12月期の埼玉県鉱工業指数 (X-11デフォルトによる季節調整済、 平成7年平均=100)は、前期と比べ、生産・出荷・在庫・在庫率のすべての指数が 上昇した。生産・出荷は3期連続の上昇となった。

また、前年同期比では、生産は4期連続、出荷は5期連続で上昇した。

			埼		玉			県		全		国		
			指	数	前	期	比	前年同期比	指	数	前	期	比	前年同期比
					(%)			(%)				(%)		(%)
生		産		96.9	0.7		0.7	2.4		105.8	$\triangle 0.1$		0.1	4. 5
出		荷		103.0			0.6	3.5		107.8		\triangle	0.4	3.9
在		庫		90.8			0.9	△0.3		95.5		\triangle	0. 1	2.2
在	庫	率		98.5			1.7	0.7		100.9			1.1	1.9

前年同期比は原指数による。在庫指数は期末値による。

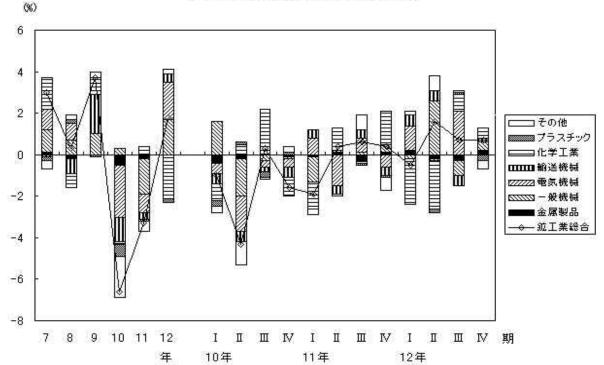
2 業種別動向

生産指数では、19業種中10業種が上昇し、9業種が低下した。上昇には化学工業、一般機械工業などが寄与し、低下にはプラスチック製品工業、非鉄金属工業などが寄与した。

出荷指数では、19業種中6業種が上昇し、13業種が低下した。上昇には一般機械工業、化学工業などが寄与し、低下にはプラスチック製品工業、食料品工業などが寄与した。

在庫指数では、19業種中12業種が上昇し、7業種が低下した。上昇には金属製品工業、電気機械工業などが寄与し、低下には輸送機械工業、一般機械工業などが寄与した。

鉱工業生産業種別伸び率寄与度の推移



埼玉県在庫循環図

